

令和6年6月定例会運営日割

教育委員会7月定例会
その他（1）

月 日	曜	時 間	会 議 名	備 考
6月 6日	木	9：30	議会運営委員会	議案等上程説明聴取
		10：00	本 会 議	
7日	金			休 会（議案等質疑通告正午まで）
8日	土			休 会
9日	日			休 会
10日	月	9：30	議会運営委員会	議案等質疑 一部議決 委員会付託
		10：00	本 会 議	
		本会議終了後	広報広聴委員会	
11日	火	9：30	建設経済常任委員会	
12日	水	9：30	厚生環境常任委員会	
<u>13日</u>	<u>木</u>	<u>9：30</u>	<u>子ども文教常任委員会</u>	
14日	金	9：30	総務常任委員会	
15日	土			休 会
16日	日			休 会
<u>17日</u>	<u>月</u>	<u>9：30</u>	<u>補正予算常任委員会</u>	
18日	火	9：30	議員全員協議会	
		議員全員協議会 終了後	議会運営委員会	
		議会運営委員会 終了後	広報広聴委員会	
		広報広聴委員会 終了後	議会改革推進会議	
19日	水			休 会
20日	木	9：30	議会運営委員会	常任委員会等報告 議決 一般質問
		10：00	本 会 議	
21日	金	9：30	議会運営委員会	一般質問
		10：00	本 会 議	
22日	土			休 会
23日	日			休 会
24日	月	9：30	議会運営委員会	一般質問
		10：00	本 会 議	
25日	火	9：30	議会運営委員会	一般質問
		10：00	本 会 議	
26日	水	9：30	議会運営委員会	一般質問
		10：00	本 会 議	
27日	木	9：30	議会運営委員会	一般質問 追加議案上程説明・委員会付託・ 常任委員会報告・議決
		10：00	本 会 議	
		本会議休憩中	補正予算常任委員会	
		本会議終了後	広報広聴委員会	

会

期

6月 6日（木）～27日（木）

22日間

子ども文教常任委員会日程

日時 令和6年6月13日（木）

午前9時30分

場所 第1議会委員会室

- 1 陳情 6第 5号 幼児教育についての陳情
報 告（1） 待機児童の状況と今後の取組等について
- 2 報 告（2） （仮称）藤沢市こども計画の策定に係る基礎調査の結果について
（3） 辻堂小学校改築事業に係る基本設計の進捗状況について
（4） 鵜沼中学校改築事業に係る基本設計について

辻堂小学校改築事業に係る基本設計の進捗状況について

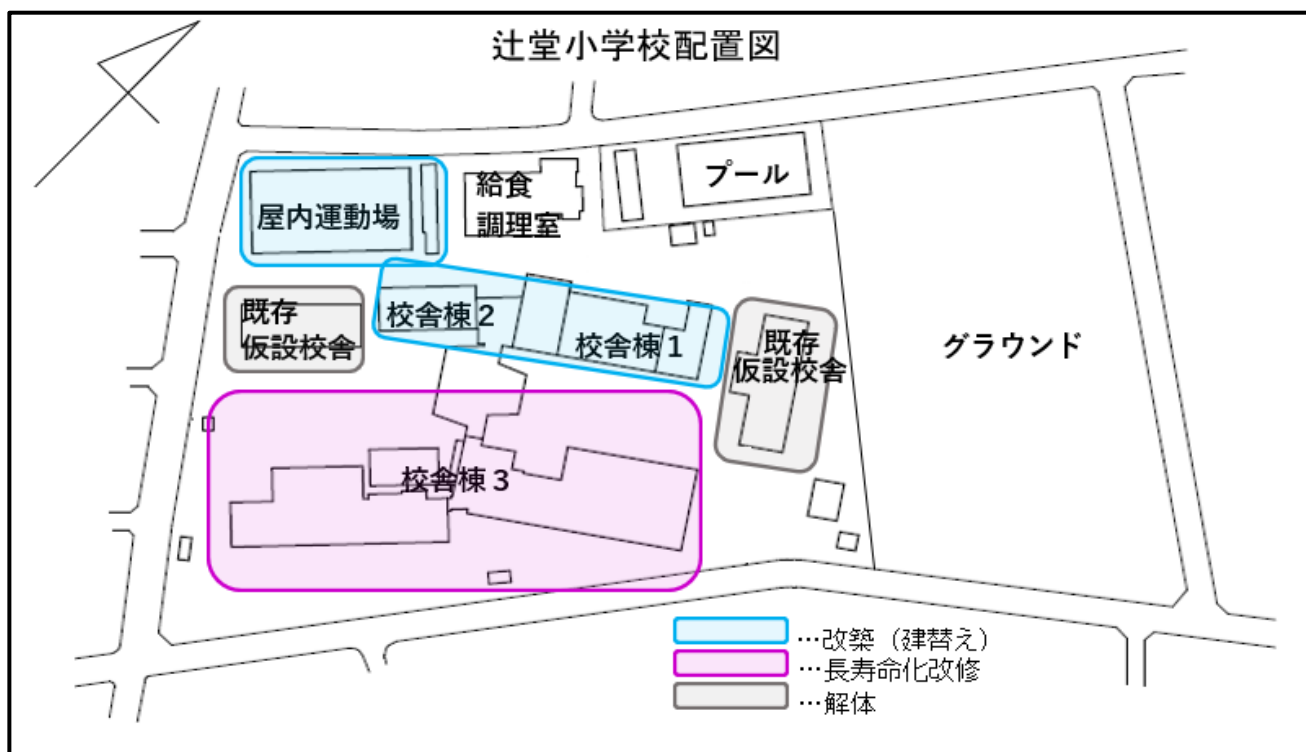
辻堂小学校改築事業は、第3次藤沢市公共施設再整備プラン及び藤沢市立学校施設再整備第2期実施計画（以下「実施計画」という。）に基づき、老朽化の解消、安全性の確保、教育環境の機能向上を図るため、施設全体の再整備事業の実施に向けて、令和5年度から基本実施設計業務を行っています。

実施計画では、表のと通りの整備手法で再整備する案としていますが、現在実施中の基本設計業務において、建物の劣化状況等に関する調査（以下「劣化状況調査」という。）を行い、その結果を基に、整備手法を決定することとしています。

今回は、基本設計業務において実施した劣化状況調査の結果及び結果を踏まえた整備方針案等をまとめましたので、報告するものです。

（表）実施計画における整備手法

建物	整備手法	理由
屋内運動場	改築（建替え）	建築後50年以上経過し、老朽化が進行
校舎棟1, 2	改築（建替え）	建築後50年以上経過し、老朽化が進行
校舎棟3	長寿命化改修 （既存改修）	建築後40年程度で比較的築年数が浅いため、長寿命化改修を実施し、機能向上を図る



1 劣化状況調査の結果について

既存建物の改修を予定している校舎棟3について、劣化状況調査を実施した結果、コンクリートや鉄筋の材料面では直ちに安全性を損なうような問題は生じていませんでした。ただし、躯体全体に経年劣化が見られるため、今後も建物を長期間使用するためには一部補強工事を行うとともに、全面的な補修が必要であるとの結果が出ていることから、実施計画のとおり長寿命化改修を実施し、引き続き既存建物を使用してまいります。

2 整備方針案について

改築事業の実施にあたり、長寿命化改修を行う校舎棟3と新校舎棟は、動線上近くに配置することとします。動線等を踏まえると、次の2つの配置方法が考えられ、3つの整備方針案を検討しています。なお、プール施設については学校プール集約化方針に基づき、近隣施設の活用を予定しています。

【別紙1及び別紙2参照】

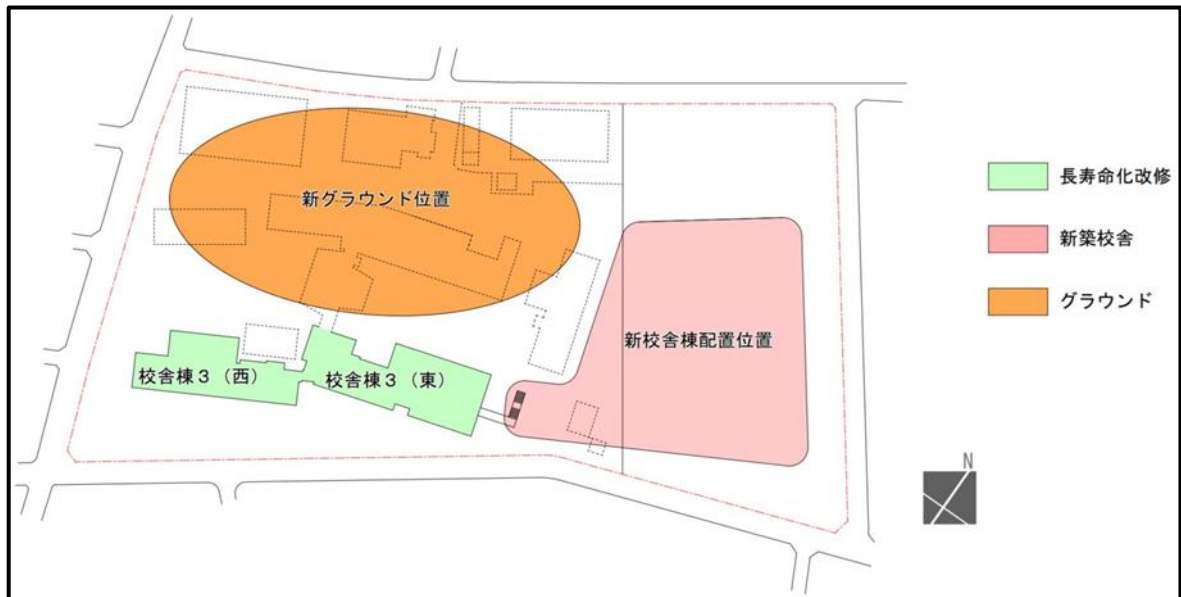
① 新グラウンドの位置・新校舎棟の位置とも現状と変わらない配置



A案 校舎棟を現在の位置に建替える案（仮設校舎（大））

B案 校舎棟を現在の位置に建替える案（仮設校舎（小））

- ② 新校舎棟を現在のグラウンドの位置に、新グラウンドを現在の校舎棟の位置に配置



C案 校舎棟を既存のグラウンドエリアに建替える案（仮設校舎なし）

3 これまでの経過について

令和5年10月	基本設計開始
11月～令和6年3月	劣化状況調査
令和6年 4月～	学校関係者、保護者代表、隣接住民との意見交換
6月	基本設計の検討状況を市議会定例会に報告

4 今後のスケジュール（予定）

令和6年 7月	基本設計の中間説明会を実施（地域住民及び保護者等） →整備方針案の絞り込み
8月～11月	基本設計内容の詳細検討 学校関係者、保護者代表、隣接住民との意見交換
12月	基本設計の検討結果を市議会定例会に報告
令和7年 1月	基本設計の結果説明会を実施（地域住民及び保護者等）

5 添付資料

別紙1 辻堂小学校整備方針案ごとの配置ゾーニング図及び工事中ゾーニング図

別紙2 辻堂小学校整備方針案ごとの比較検討表

以 上

(事務担当 教育部 学校施設課)

■ 辻堂小学校整備方針案ごとの配置ゾーニング図及び工事中ゾーニング図（別紙１）

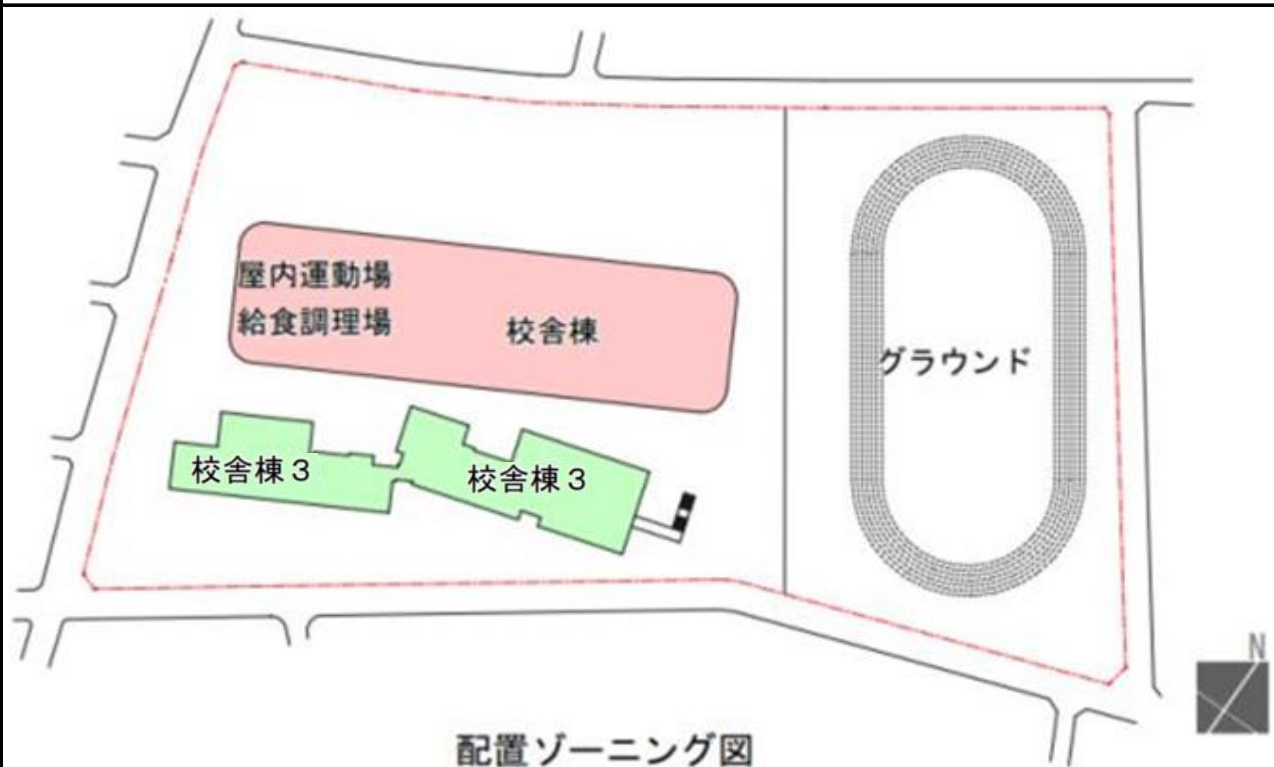
A案 — 校舎棟を現在の位置に建替える案（仮設校舎（大）） —

■ 配置上の特徴

・現状位置での改築で近隣等周辺環境の変化が小さく、まとまりのある配置が可能

■ 工事の流れ

・大きな仮設校舎建設→新校舎建設と長寿命化改修を同時に実施



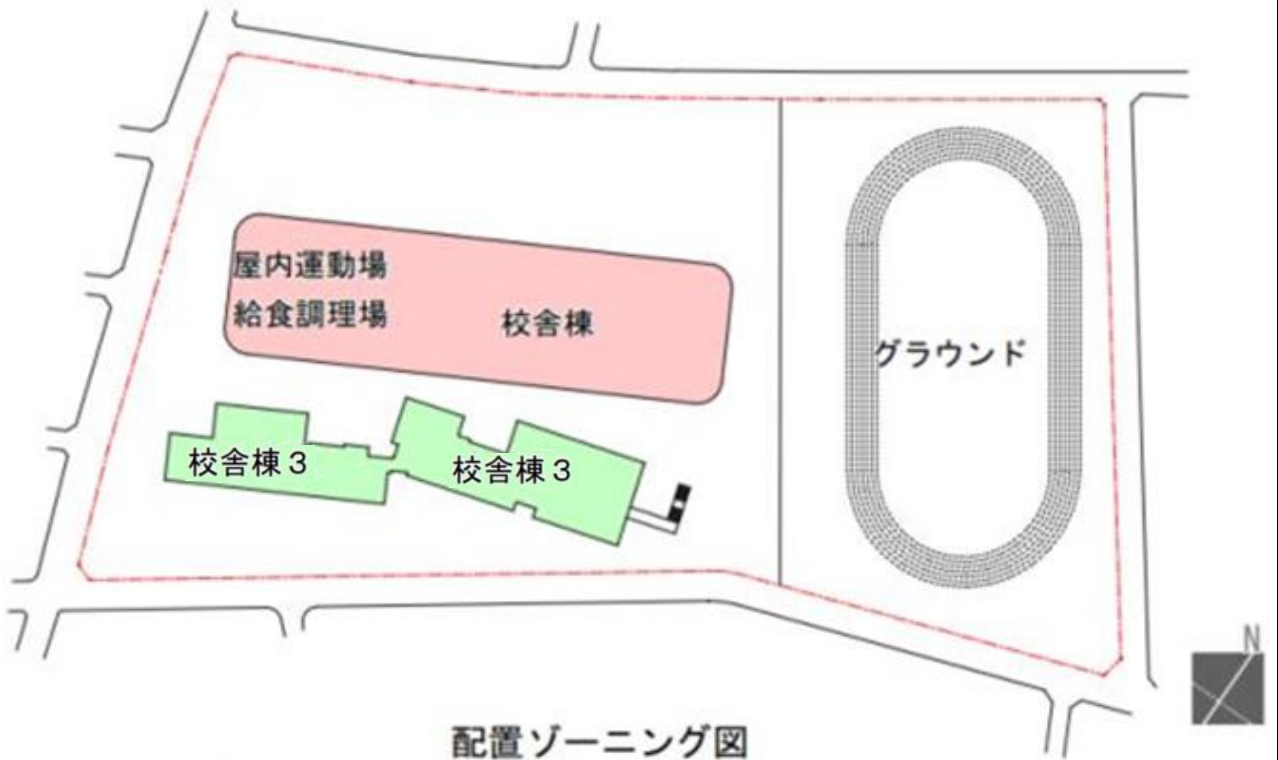
B案 — 校舎棟を現在の位置に建替える案(仮設校舎(小)) —

■ 配置上の特徴

・現状位置での改築で近隣等周辺環境の変化が小さく、まとまりのある配置が可能

■ 工事の流れ

・仮設校舎建設→新校舎建設→長寿命化改修



C案 — 校舎棟を既存のグラウンドに建替える案（仮設校舎なし） —

■ 配置上の特徴

- ・校舎棟から児童の登下校やグラウンド活動など敷地全体を目視できるため、防犯・安全性が高い
- ・グラウンドの面積が現在よりも広く確保できる

■ 工事の流れ

- ・新校舎建設→長寿命化改修



		A 案		B 案		C 案	
工事期間中	仮設校舎	△	・既存校舎分の面積の仮設校舎が必要となる。 ・広いスペースが必要になる。	○	・既存校舎の半分程度の面積の仮設校舎が必要となる。	◎	・仮設校舎を設けない計画案。
	仮グラウンド	△	・仮設校舎の建設が必要のため、広いスペースを確保することが難しい。	○	・仮設校舎が必要となるが、A案よりも広いスペースが確保できる。	○	・広いスペースを確保することが難しいが、広場も含め分散してスペースが確保できる。 ・仮グラウンドの期間が他2案に比べ短くなる。
	移転	△	・仮設校舎及び新校舎への移転が2回必要となる。	△	・半数程度、仮設校舎及び新校舎への移転が2回必要になる。もう半数程度は新校舎への移転が1回必要になる。	○	・校舎棟3から新校舎への移転が1回、校舎棟1・2から改修完了後の校舎棟3への移転が1回必要になる。
	給食の配膳	△	・仮設校舎及び校舎棟3への配膳が長く、また外部通路に出る必要がある。	△	・仮設校舎及び校舎棟3への配膳が長く、また外部通路に出る必要がある。	○	・校舎棟3の改修時には、新校舎から校舎棟1・2等への配膳が必要になるが、他2案に比べ、外部通路での配膳距離が短い。
事業完了後	生活環境	○	・既存校舎の配置と大きく変わらず、まとまりのある配置が可能。	○	・既存校舎の配置と大きく変わらず、まとまりのある配置が可能。	△	・校舎が東西に長く、動線が長くなるため、南東部分に屋内運動場、特別教室を配置するなどの配慮が必要。
	グラウンド環境	△	・現状とほぼ変わらない位置、面積となりあまり広くない。 ・日影の影響はほぼない。	△	・現状とほぼ変わらない位置、面積となりあまり広くない。 ・日影の影響はほぼない。	○	・面積としては、現状より広くとれる。 ・北側のグラウンドとなるため、新校舎や校舎棟3の日影の影響がある。
	周辺への影響	○	・現状とほぼ変わらず、周辺環境への変化が小さい。	○	・現状とほぼ変わらず、周辺環境への変化が小さい。	△	・南東側から東側にかけて新校舎ができるため、日影・視線・音などの環境の変化がある。
整備コスト		△	・大きな仮設校舎が必要。(仮設校舎概算金額：約13億円)	○	・A案と比べて小さな仮設校舎でよいため、コストは9.5割程度となる。(仮設校舎概算金額：約10億円)	◎	・仮設校舎の新設、解体が無い分、A案に比べてコストが8割程度となる。
全体工期		○	・仮設校舎の新築・解体が必要のため、工期が長くなる。(仮設校舎使用月数：約23カ月)	△	・新校舎建設と長寿命化改修を分けて工事をするため、A案よりも3カ月程度全体の工期が長くなる。(仮設校舎使用月数：約30カ月)	◎	・仮設校舎の新設、解体が無い分、A案に比べて工期が9カ月程度短くなる。

鵜沼中学校改築事業に係る基本設計について

鵜沼中学校改築事業は、第3次藤沢市公共施設再整備プラン及び藤沢市立学校施設再整備第2期実施計画（以下「実施計画」という。）に基づき、老朽化の解消、安全性の確保、教育環境の機能向上を図るため、施設全体の再整備事業の実施に向けて、令和4年度から基本実施設計業務を行っています。

昨年12月の子ども文教常任委員会において、基本設計業務における既存建物の劣化状況調査の結果を踏まえ、整備手法案の変更及び整備方針案の報告をいたしました。が、今回基本設計がまとまりましたので報告するものです。

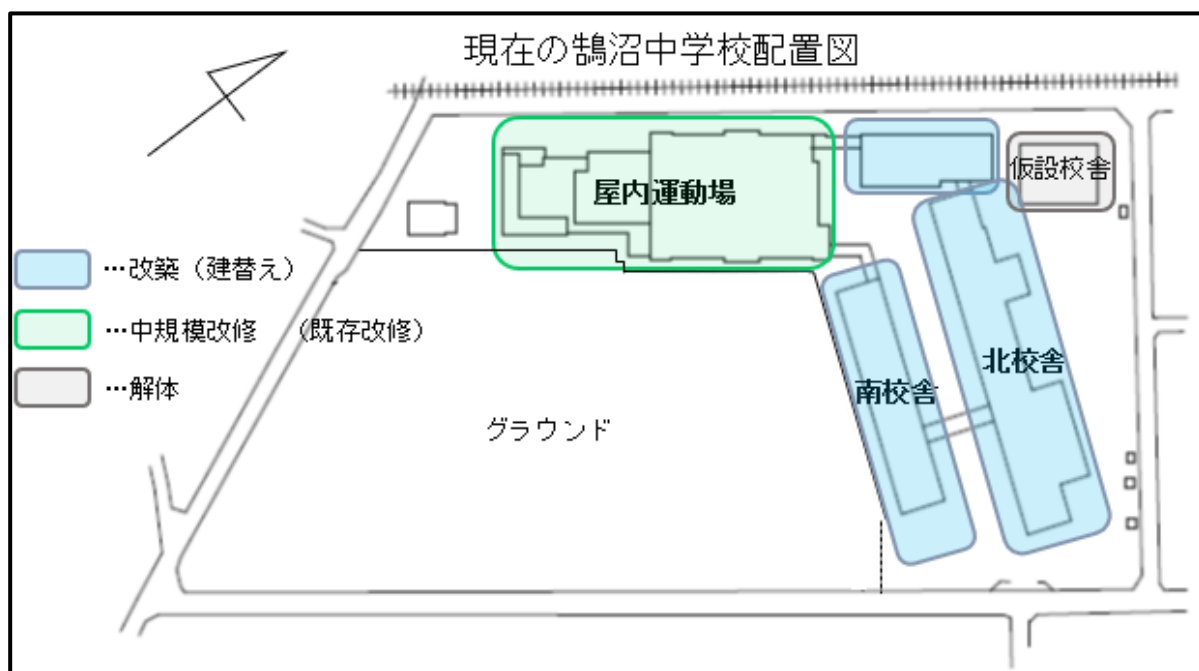
1 基本設計の概要について

（1）基本コンセプトについて

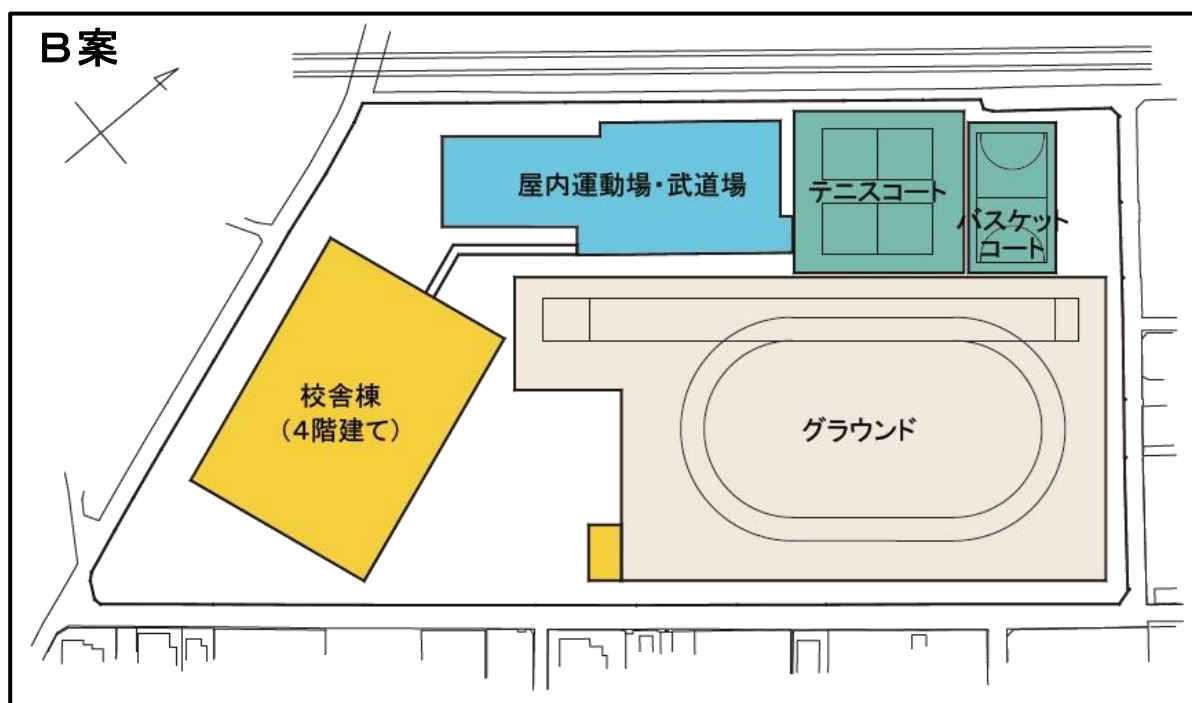
次の7つのコンセプトを軸として基本設計を進めています。

- メディアセンターを校舎棟の中央に設け、多機能な機器や学習空間・場が得られる学びの場とする
- 普通教室はICT活用と多様な学習形態に対応する学習環境を創る
- 学校全体が学習・交流の場となるスクールcommonsを目指す
- 多様なコミュニケーションが生まれ、開かれた教職員commonsを設ける
- 環境との調和・自然エネルギーの積極的活用を図る
- 地域との交流の拠点として、誰もが使いやすく、防災拠点となる施設とする
- 安心・安全、将来にわたり維持管理がしやすい施設とする

(2) 配置計画について



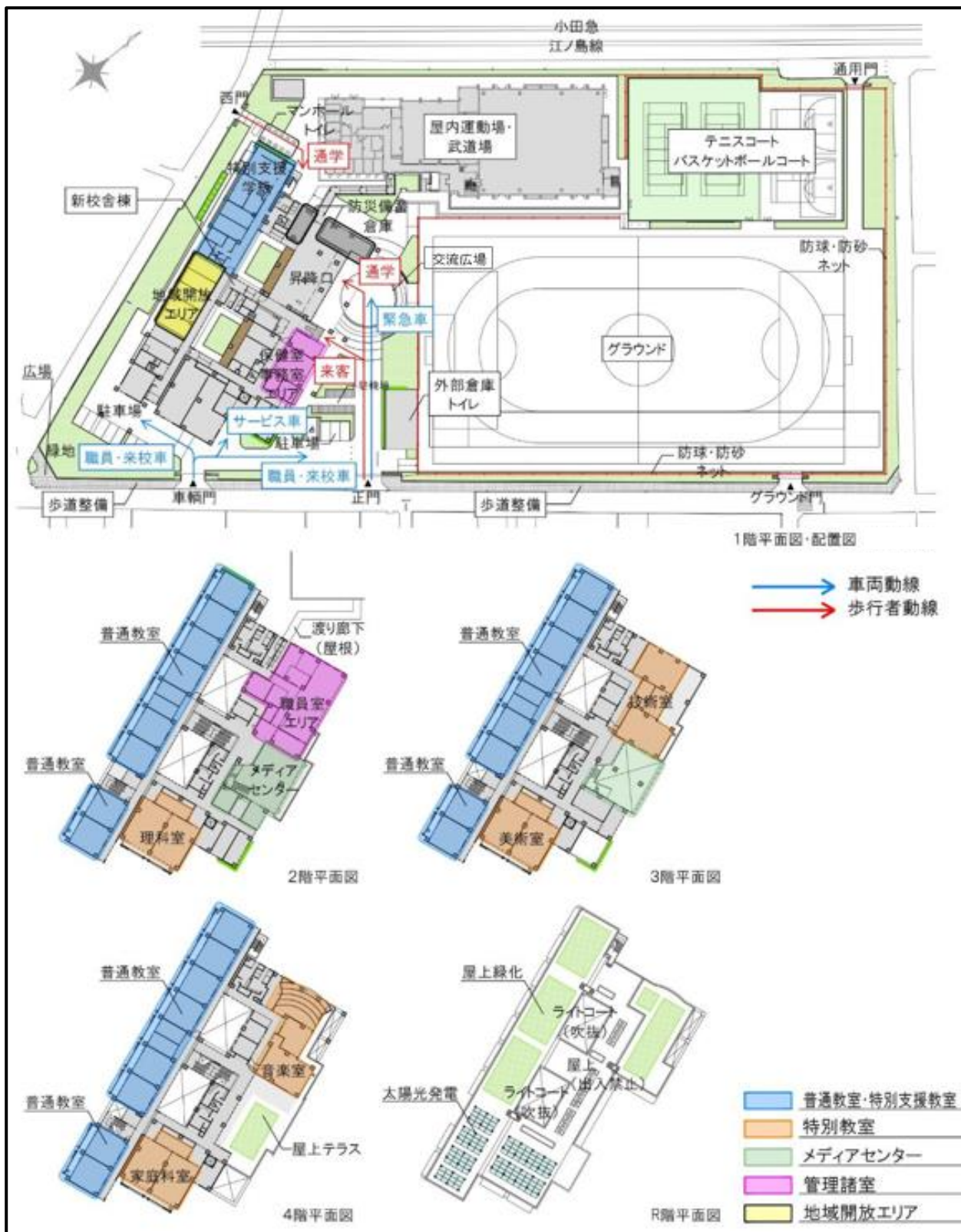
- A案** 校舎棟を現在の位置、北側に建替える案
- B案** 校舎棟を既存のグラウンドエリアの南側に建替える案
- C案** 校舎棟を既存のグラウンドエリアの中央に建替える案



・整備方針案を比較検討した結果、仮設校舎を建設する必要があるため、費用が削減でき、工期の短縮が見込まれることなどから、現在建物のない南西側に校舎棟を配置するB案を採用することとしました。

(3) 平面計画について

配置計画を踏まえ、学校関係者等と協議のうえ平面計画を検討しました。



平面図・配置図



イメージ図(東側)

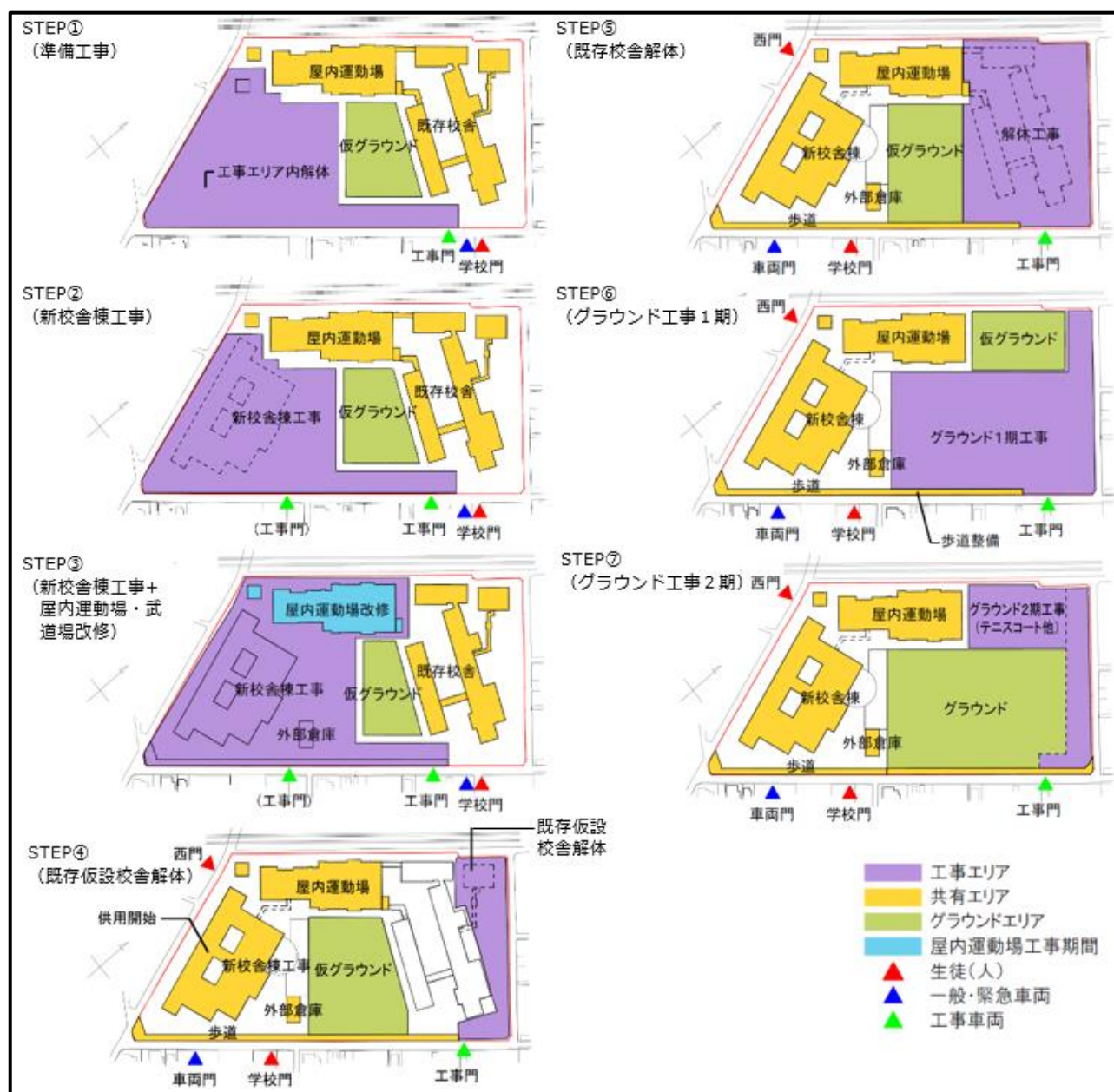


イメージ図(南側)

(4) 事業スケジュールと工事エリアについて (予定)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
事業スケジュール	建設工事	基本設計 →	実施設計 →	準備工事 →	新校舎棟工事 →	移転 ●	グランド工事 →	1期工事 →	2期工事 →
	改修工事	基本設計 →	実施設計 →		屋内運動場・武道場改修 →				
	解体工事	基本設計 →	実施設計 →			既存仮設校舎解体 →	既存校舎解体 →	仮グランド整備 →	
	工事STEP	基本設計 ●	住民説明会	① ↔	② ↔	③ ↔	④ ↔	⑤ ↔	⑥ ↔

工事 STEP



(5) 概算工事費について

約 79 億円 (税込)

- ・校舎新築工事
- ・屋内運動場武道場改修工事
- ・既存校舎解体工事
- ・グラウンド整備工事

2 これまでの経過について

令和6年	1月	基本設計の中間説明会を実施（地域住民及び保護者等）
	2月～5月	基本設計内容の詳細検討 学校関係者、保護者代表、隣接住民との意見交換
	6月	基本設計の検討結果を市議会定例会に報告

3 今後のスケジュール(予定)

令和6年	7月	基本設計の結果説明会を実施（地域住民及び保護者等）
令和7年	9月	基本・実施設計業務完了
令和8年	6月	工事着手予定

以 上

(事務担当 教育部 学校施設課)

一般質問の件名及び要旨

令和6年6月定例会

番号	質問者氏名	件 名	要 旨
1	今 井 みきこ	1 健康・福祉施策について	(1) 安心して外出できるまちに (2) 高齢者の移動支援について (3) 健康寿命の延伸を目指して
2	安 田 景 輔	1 能登半島地震の被災状況からみえる防災上の課題について	(1) 初動時の情報収集活動について (2) 広域火災への対応について (3) 被災から日常生活復旧への過程について (4) 下水道インフラの耐震化について
		2 熱中症対策について	(1) 熱中症特別警戒アラートが発せられた場合の対応について【教育部】 (2) 公共施設等におけるエアコンの整備について【教育部】
3	松 尾 宏 之	1 環境に配慮した藤沢をめざして	(1) 紙おむつのリサイクルについて
		2 高齢者がいきいきと暮らせる藤沢のために	(1) 高齢者インフルエンザ予防接種無償化について (2) ゴミ出し一声ふれあい収集について (3) 高齢者働き口「生涯現役窓口」について
		3 子どもまん中の藤沢をめざして	(1) 小・中学校のwi-fi環境について【教育部】 (2) 子どもDX推進について
		4 デジタル環境に強い藤沢のために	(1) 公共施設のwi-fi環境について
4	加 藤 彩 野	1 教育行政について	(1) 学校給食について【教育部】 (2) 学校施設等の諸課題について【教育部】
5	山 口 政 哉	1 共創し選ばれ続ける観光地の実現について	(1) 地域と共に創る観光地の実現に向けた取り組みについて (2) 旧かながわ女性センター跡地利活用について
		2 働きやすい環境づくりについて	(1) ビジネスケアラーについて
6	森 井 健太郎	1 ごみ収集業務のデジタル化について	(1) ゴミ分別アプリの活用について
		2 一時保育について	(1) 一時保育の利用申し込みについて

番号	質問者氏名	件 名	要 旨
7	小 池 恵 子	<u>1 市民の政治参加について</u>	(1) パブリックコメントについて (2) <u>主権者教育における子どもと若者の意見反映について</u> 【教育部】
		<u>2 藤沢市の農業について</u>	(1) <u>地産地消について</u> 【教育部】 (2) オーガニックビレッジについて
8	須 田 一 行	1 子育て支援について	(1) 子育て支援策の趣旨・目的について (2) 保育園について (3) 放課後児童クラブについて (4) 自習スペースについて (5) 子育て支援策の予算配分について
9	栗 原 貴 司	1 海業について	(1) 漁港の有効活用について
		2 市民農園について	(1) 今後の市民農園について
		3 移動支援について	(1) シニアカーについて
10	平 川 和 美	<u>1 誰もが安全で安心して過ごせるまちへの取組について</u>	(1) <u>給水機設置について</u> 【教育部】 (2) <u>公共施設の空調設備について</u> 【教育部】《生涯学習部》 (3) 防災への取り組みについて
		2 市民の健康の取組について	(1) 高齢者の健康づくりについて (2) 市民の健康づくりについて
11	安 藤 好 幸	1 住みやすい街ふじさわについて	(1) カーボンニュートラルについて
		2 市民生活を支える都市基盤整備について	(1) 下土棚遊水地公園について
12	東 木 久 代	1 子どもの笑顔溢れるふじさわづくり	(1) 子ども家庭センターの役割について (2) 産後ケアの充実について (3) 保育士不足解消策について
		2 安心の超高齢社会について	(1) 居住支援について
		3 防災対策について	(1) トイレ対策について

番号	質問者氏名	件 名	要 旨
13	石 井 世 悟	1 防災政策について	(1) 避難の在り方について (2) 地域防災力向上について (3) 防災DXについて (4) 観光地としての防災対策について
		2 公園政策について	(1) 公園利用について (2) 防災公園について (3) インクルーシブ公園について
		3 まちづくりについて	(1) 藤沢本町駅及び駅周辺の再整備について
14	味 村 耕太郎	1 公衆衛生行政について	(1) 帯状疱疹予防接種費助成制度の創設について
		2 人権尊重のまちづくりについて	(1) 藤沢市パートナーシップ宣誓制度の諸課題について
15	石 川 麻 央	1 児童福祉政策について	(1) 児童虐待対応における他機関連携について
		2 地域経済の活性化について	(1) 創業支援の充実について
16	友 田 宗 也	1 道路空間の安全性・快適性の向上について	(1) 辻堂駅遠藤線の課題について
17	塚 本 昌 紀	1 <u>学校教育環境の整備について</u>	(1) <u>新聞を活用した活字に関する学びについて【教育部】</u> (2) <u>学校施設の老朽化対策について【教育部】</u> (3) <u>CLTを使用した木造校舎について【教育部】</u>
		2 行財政改革について	(1) 稼ぐ自治体について (2) 公会計改革の進捗について (3) 事務事業評価と財務諸表の連動について
		3 自転車に優しい道路整備について	(1) 自転車走行空間の整備について
18	井 上 裕 介	1 民間委託について	(1) コンタクトセンターについて
		2 子育て支援について	(1) 保育施設の入所申し込みについて
		3 商店街について	(1) 課題について

番号	質問者氏名	件 名	要 旨
19	西 川 誠 志	1 藤沢の魅力発掘について 2 子どもたちの明るい未来のために 3 環境啓発について 4 地域共生社会の推進について	(1) 中部・北部の観光資源について (1) 藤沢市こども未来基金について (1) リサイクルプラザについて (1) 福祉専門職員について
20	柳 田 あ ゆ	1 <u>社会教育について</u>	<u>(1) 公民館・図書館における諸課題の認識と今後の運営について</u> <u>【教育部】《生涯学習部》</u>
21	町 田 輝 佳	1 人口政策について	(1) 人口自然増へ、出生率改善について (2) 人口社会増へ、流入策について
22	谷 津 英 美	1 まちづくりについて	(1) 誰もが過ごしやすい優しい公共空間について
23	有 賀 正 義	1 自然環境保全政策について 2 公有財産とまちづくりについて	(1) 川名清水谷戸の保全について (1) 旧辻堂市民センター・公民館に関する事業について
24	西 智	1 公共の利益に資する職員の労働環境について	(1) カスタマーハラスメントについて (2) 職員の喫煙について (3) 職員の自腹について
25	原 田 建	1 <u>地方分権から地域共生社会へ！藤沢のまちづくりを発酵させよう。</u>	(1) 地方自治法改正ほか国会で審議されている諸課題について (2) <u>藤沢市が責任を持って向き合うべき住民生活を守るための諸課題について</u> <u>【教育部】</u>
26	柳 沢 潤 次	1 住宅行政について	(1) 市営住宅に関する諸問題について (2) 空き家対策について